

栃木県生協連・2012年度2月定例報告

2013年2月19日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 1月活動日誌

日付	曜日	予定
1月4日	金	宇都宮市賀詞交歓会、小山市賀詞交歓会
1月7日	月	県民生活部長挨拶、連合新春のつどい
1月12日	土	いわき市四倉仮設でのお茶会
1月15日	火	ふれあいお茶会県連・6県連研修実行委員会
1月17日	木	県連常務理事会、財政検討委員会、県連賀詞交歓会
1月21日	月	県子どもエコクラブ壁新聞コンテスト
1月22日	火	ブリヂストン那須グループ生協県の定期検査
1月25日	金	食の安全ネットワーク消費者セミナー(佐野・地婦連)
1月28日	月	食の安全ネットワーク消費者セミナー(宇都宮・生活クラブ)
1月29日	火	県食の安全推進連絡会、地連運営委員会・県連活動推進会議
1月30日	水	食の安全ネットワーク消費者セミナー(小山・よつ葉生協)
1月31日	木	食の安全ネットワーク世話人会、消費者セミナープロジェクト、とちぎコープおもちゃのまち店改装オープン

(2) 1月活動の概況

(会員等の動き)

1月31日(木) とちぎコープ生協のおもちゃのまち店が改装オープンされた。水産コーナーの対面方式導入などが、新たな特徴との事です。

1月31日(木) 足尾銅山生協三養会の総代会が終了された。

(委員会等の取り組み)

1月15日県連6県連合同業態研修会の実行委員会が開催された。2013年度に5県連からの参加者を受け入れるために、企画と準備を進めていくことが確認されました。

1月17日財政検討委員会が開かれ、2013年度の損益ガイドライン、2013～2014年度の会費案が検討され、理事会に答申していくことが確認された。

(宇都宮市内と福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

1月15日(火)ふれあいお茶会が特養みどりで開催された。今回は、大人11名、前日の雪にも関わらず11名の参加があった。新規の方3名だった。協力者、スタッフは14名。初めての方は下野あじさいお茶会から参加された。とちぎ暮らし応援会では、西那須野での相談会、真岡、益子でのお茶会を開く予定との報告がされた。

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

1月12日(土) 第11回目いわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会を開催した。参

加スタッフは、とちぎコープ8名、よつ葉生協2名、県連2名の計12名、車はよつ葉協ワゴン車1台、とちぎコープの1台でいわきに向かった。参加された方は大人12名（内男性2名）、子供2名だった。生花を使ったフラワーアレンジメント、ステンドグラス風のクリアファイルペイントの企画も好評で楽しんでもらえた。正月一時自宅に戻られた方から、その時の様子などの話が出されていた。

(食の安全課題の関連)

「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」1月は、25日栃木県地婦連を開催団体に佐野市市民活動交流館で開催された。講師は農林水産省山田友紀子技術総括審議官、参加者は217名だった。会場の質問にも丁寧に答えられた。

1月28日生活クラブ生協を開催団体とするセミナーが、宇都宮市東市民活動センターで開催された。講師は高木学校の山田氏、参加者は105名だった。

1月30日のよつ葉生協を開催団体とするセミナーが、小山市市民文化センターで開催された。講師は、日本大学藤村教授、参加者は66名だった。アンケートでは、講師の話に共感された方が多かった。

1月31日食の安全ネットワークの世話人会と消費者セミナーのプロジェクトが開催された。世話人会では、3月の全体会を消費者セミナーを含める事、プロジェクトではセミナー2会場の追加が確認された。

(消費者課題)

2月2日(土)消費者シンポジウムが宇都宮大学ホールで開催された。初めての土曜日開催だったが、学生さんの参加が予想を上回って、参加者全体では253名と今まで最も多かった。基調講演の講師は、栃木市鈴木俊美市長にお願いし、自治体における消費者行政についてのテーマで、消費者問題と自治体の役割、条例制定の意味など詳しく説明され、アンケートでも自治体の役割、条例の意味など理解できたとの声が出されていた。その後、杉原代表からネットワークとしての条例試案の提案、パネルディスカッションが行われた。市長、弁護士さん、学生さん、消費生活専門家がパネラーとして、意見交換がされ自治体における消費生活条例制定の意味など、深められた。

(多くの参加があった消費者シンポジウム)



(国際協同組合年)

1月栃木県実行委員会の今後の進め方について、代表、副代表と意見交換を行い、何らかの形で継続していく必要があることを確認し、検討を進めることとした。

また、県連内の国際協同組合年ワーキングチームでは、3月4日に報告会を開催する

こととした。

(賀詞交歓会)

今年の賀詞交歓会は17日に開催され、約50名の参加をいただいた。宇都宮市佐藤市長をはじめ、県議会議員の方々、関係行政の方々、JAグループなど関係団体の方々、NPOなどの方々、学識者、県連会員から参加をいただき交流の場を持つことができた。

(広報)

1月1日～2日にかけて「とちぎテレビ」で、県内のトップの方々に聞く「トップインタビュー」が放送された。県連からは竹内会長がインタビューに対応された。

(日本生協連関連報告)

29日日本生協連中央地連運営委員会が開催され、内容は生協法改正に関する取り組み状況、ポストIYC報告、生協監事監査基準の見直し及び監事監査規則例等の改正について、公正取引指針の見直しの進め方、第12次全国生協中期計画(1次)、今後の消費税増税対応について、報告及び協議がされた。

(3) 3～5月の課題

1. 6連合同業態研修会・実行委員会、監事・会計研修会の開催
2. 3～5月部会等活動の推進
(くらし部会)、(第2回災害対策交流会の開催)
3. 3～5月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)推進
(食の安全安心とちぎ消費者セミナーの推進を含む)
4. ICA臨時総会を受けて栃木県実行委員会の今後の方向性の具体化
5. 栃木県生協連内の国際協同組合同年ワーキングチームの活動発表
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 第5次中計委員会答申案の確認
8. 県連総会の開催準備

(栃木県連・ネットワーク・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ)

1. 栃木県生協連の活動予定 (2～3月)

2月19日(火) 10時～、特養みどり、「ふれあいお茶会」

3月16日(土) 11時～、いわき市四倉工業団地仮設、「お茶会」

3月7日(木) 10時～、福祉プラザ、「監事研修会」

3月7日(木) 13時15分～、福祉プラザ、「会計研修会」

3月18日(月) 13時半～、福祉プラザ、「災害対策交流会」

4月下旬～5月上旬(木) 午後予定、「くらし部会拡大学習会」

講師予定 公益財団法人 広島平和文化センターから
派遣いただく予定

仮題 核廃絶に向けた状況と2020ビジョン
(世界平和市長会議の状況含めて)

2. ネットワークの活動予定

2月20日(水)、14時半～、アピア、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏

開催団体 栃木県労働者福祉協議会

3月9日(土)、10時～、アグリプラザ、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏

開催団体 とちぎコープ生協

3月11日(月) 13時～、アグリプラザ、食の安全ネットワーク「全体会」

14時～、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 京都大学・名誉教授・放射線生物研究センター
・特任教授 渡邊正己氏

主催及び開催団体 とちぎ食の安全ネットワーク

2月18日(木) 13時半～、NPO法人あじさい・アナベル土塔集合

福祉ネットワーク見学会・全体会

3. 国際協同組合年関係

3月4日(月) 15時～、福祉センター7階、「ワーキングチーム報告会」

4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

2月28日(木) 13時半～、県総合文化センター、

栃木県と宇都宮市主催「とちぎ食品安全フォーラム」